

令和5年度「学生とともにのぼす京都プロジェクト成果報告会」

龍谷大学 政策学部 「政策実践・探究演習」

福知山市中六人部における 森林の未利用資源の利活用をめざすプロジェクト

プロジェクト生

谷田孝大朗 栗野杏 黒田茉衣子
大江花梨 中西恵美子 針生英
派田悠衣 大倉真美 山本美桜
嶋岡愛乃 葵昌倫 小東歩実
藤岡沙也加 杉田伊織 松山遼平
足立魁正 田村勝哉 林和真

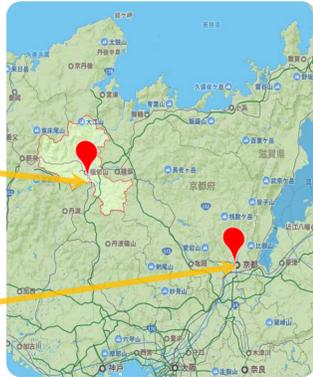
指導者

谷垣岳人 榎並ゆかり

① プロジェクト目標

地域の自然資源の再発見、再評価を行う活動を通して、人と自然が共生する新しい持続可能な地域社会を目指す

中六人部地域について



なかむとべ
中六人部
宮・大内・田野の
3集落で構成

福知山市

京都駅

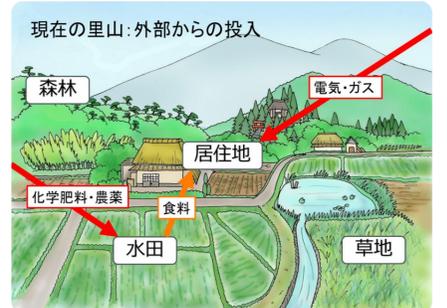
人口：704人 (2022年12月時点)



高齢化率：50.3%

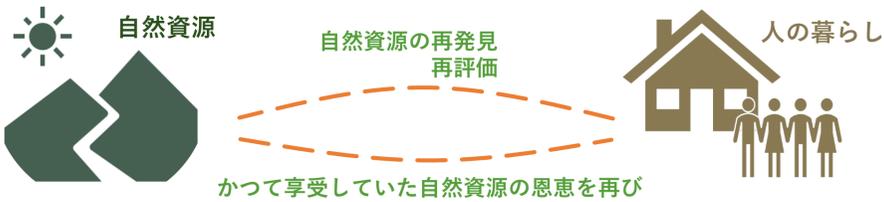
出典：Yahoo! MAP

② 里山地域の課題



持続可能な内部循環系の喪失
自然資源は地域の価値として認識されなくなる

③ プロジェクト活動の班編成・テーマ



いきものがかり班

生きものが有する
潜在価値の
発掘・活用

チームバイオマス班

山の木材資源
の活用

ててまる。班

山の食材資源
の活用

④ 中六人部地域における活動



いきものがかり

いきものがかりの目標

中六人部地域には多様な生きものが生息

課題 価値として認識されず
地域づくり活動で十分に活用されていない

目標 生きものが有する潜在価値の
発掘・活用に取り組み、地域づくりに貢献

2023年度の活動

WS型ヒアリング調査の実施

川での生物調査

「中六一きものずかん」の制作



「中六一きものずかん」の制作

基本情報 生態、分類、レッドリスト
地域の視点 地域での呼び名、エピソード

学生の視点
生物調査の記録
→ 地域の方からのアドバイスにより追加

チームバイオマス

チームバイオマスの目標

課題 放置された間伐材が多い

目標 山の木材資源を活用して地域を活性化を目指す

2023年度の活動

地域の方々へのWS型ヒアリング調査

現地調査

「中六人部森林図鑑」の制作

山の資源の活用

第4回FW
落ち葉を収集

腐葉土づくりに利用

今後に向けた展望



ててまる。

ててまる。の目標

課題 エネルギー利用の転換によって、山を利用する機会が減少
地域固有の伝統的な食文化が衰退
山には豊かな食材資源があるが、活用できていない

目標 中六人部の食材資源の再発見・再評価をし、
地域内外に魅力を発信することで、
豊かな里山自然の保全を目指す

2023年度の活動

地域の方々へのWS型ヒアリング調査

現地調査（マツタケ山の整備）

「中六人部のきのこ・山菜」資料作成

マツタケについて

昔はたくさん採れていたが、
エネルギーの転換、山の利用機会の減少

収穫量の減少 入山権など厳格な管理
富栄養化
落ち葉堆積
アカマツ周辺に雑木の存在

山の手入れをする必要性

マツタケ山の整備 (12月2日)

堆積した落ち葉のかき出しと雑木の伐採
→ かつてマツタケが多く採れていたアカマツ林の復活を目指す



⑤ 活動成果と学び

2023年度の活動 プロジェクト活動の基盤となる情報収集・整理

計4回の
ワークショップ・ヒアリング + 大学での情報収集

いきものがかり
中六一きものずかん

チームバイオマス
中六人部
森林図鑑

ててまる。
中六人部の
きのこ・山菜資料



活動を通して
学生が感じたこと

地域では当たり前存在
となっているもの

立派な地域資源・魅力である

学生（地域外で生活する者）が
参加することで
地域の方々・学生ともに
新たな発見・学びがある

自然資源と人々の暮らしを
結びつけることが大切

2024年度はこの基礎資料を踏まえて、
人と自然が共生する新しい持続可能な地域社会を目指す
活動をさらに進めていきます。

